**ステファン･サルパネヴァの*ムーンマシーン***

**ジャイアント･インパクトの所産**

フィンランドの時計師ステファン･サルパネヴァ氏による「ムーンマシーン」はMB&F初の1人の時計師によるパフォーマンスアート･ピーシーズであり、また初めてマシンに新たな複雑機構を持たせた作品でもある。ムーンマシーンでは、ステファンは特別設計のHM3フロッグを題材に、彼の代名詞ともいえる顔のついたムーンフェイズ表示を星々のきらめく北天に配した。

**月：**幼い地球がまだ形成の途上にあった約45億年前、火星大の原始惑星テイアが我らの地球に衝突。その「ジャイアント･インパクト（巨大衝突）」により崩壊したと考えられている。その破片の一部は地球の重力に引きつけられ、残り（地球とテイアの物質でできている）が地球の周りの軌道上に乗った。それから12ヶ月もしないうちに軌道を回るこの破片は合体して月となったのだ。

その後44億年にわたり、太陽に対する地球の傾きは月の引力によって一定に保たれ、そのおかげで地球の表面の大部分に比較的穏やかな季節がもたらされた。それは生命が誕生し進化するのに理想的な条件だった。

この地殻を激変させる出来事がなければ、きっと私たちはここにいなかっただろう。私たちは皆「月の子供たち」と言えるのかもしれない。

人類は地上を歩き始めるやいなや夜空を見上げ、天空で最も大きく明るい天体に驚きと畏敬の念をもって見つめた。誰よりもそうしてきたのはフィンランドに住む人々（ステファン･サルパネヴァ氏も含む）かもしれない。夏の「白夜の地」は、一方であまりロマンチックでも有名でもない長い長い冬の夜を迎えるわけで、その住人たちには月や星を観察する時間が他の誰よりもたっぷりあるのだから。

**ムーンマシーン：**月の成り立ちほどの激変ではなかったとはいえ、ムーンマシーンもまたMB&FのHM3フロッグと独立時計師ステファン･サルパネヴァ氏という2つの世界の衝突から誕生した。

2003年に自身のブランド、サルパネヴァ･ウォッチを立ち上げるまでステファン･サルパネヴァ氏はピアジェ、パルミジャーニ（ここで彼はカリ･ヴティライネンと共に仕事をした）ヴィアネイ･ハルター、クリストフ･クラーレなどスイスの最高級ブランドで働いた。

*「ステファンは素晴らしいデザインセンスと細部への真のこだわりを持っている。彼の仕事と彼を取り巻くすべてのものには徹底した一貫性がある。」*とマキシミリアン･ブッサーは語る。

**ステファン・サルパネヴァ氏：**ステファンを象徴する3つのテーマ、特徴ある表情をした月、北天の星々や星座、そして凹凸のあるコロナケース（コロナとは太陽のプラズマ大気）。すべてが天体にかかわるものだ。そしてこの3つすべてがムーンマシーンに盛り込まれた。サルパネヴァの2つの顔を持つ月がコロナ形の窓越しにムーンフェイズを表示し、レーザーで穴を開けて北の蒼天の星々や星座を表したスチールと22kゴールドのディスクが実はミステリー･ワインディングローターである。

**HM3フロッグ：**ムーンマシーンのベースにフロッグが選ばれたのは、文字盤側に大きく開いたムーブメントの見える窓が時計師に遊びのスペースを提供することと、フロッグの球状の表示ドームが、SFマニアが長く思い描いてきた月面の居住ドームを連想させることからである。フロッグがHM3と根本的に異なるのは、HM3では時針と分針がそれぞれに固定されたコーンの回りを回転するのに対し、フロッグではサファイアクリスタルの下でアルミニウム製ドームが回転する点である。そしてムーンマシーンはありふれたHM3フロッグ（そのようなものが存在すると言えるならばだが）ではない。ムーンマシーンの2つのドームがユニークなのは、手首に対して平行ではなく直角に置かれている点である。

 大きな表示ドームを回転させるには数多くの技術的問題が生じた。必要とするエネルギーをできる限り抑えるためにドームはアルミニウムの塊を0.28mmという紙のような薄さになるまで機械加工して作られた。半球状のサファイアクリスタルドームに少しでも欠陥があれば文字がきれいに拡大表示されないため、ドームは細心の注意を払って機械加工し磨かなければならなかった。フロッグのユニークな時間表示方法は、HM3のエンジンのための新しいギアトレインの開発を必要とした。それは、HM3の時針が24時間で1回転するのに対し、フロッグのアルミ製の時間ドームは12時間で1回転するからである。

遊び心あふれるかたちで時間を示すムーンマシーンだが、内部で静かに音を立てるハイチューンエンジンの細かな手仕上げには細部にわたって厳格かつ細心の注意が払われている。

**北天のローター：**手仕上げされた一対の月の顔に見事な背景を加えるのは、北天を模した多層式ローターである。このローターは目障りになるかもしれないHM3のゴールドのワインディングローターを隠すと同時に、その動きは星の生き生きとした移り変わりに利用されている。下部にあるムーブメントに光を反射させるようレーザーで穴を開けて作った星々は、いたずらに配置されているわけではない。模られているのは北斗七星としてよく知られる大熊座の中の最も明るい7つの星、さらに小熊座の中で小北斗七星として知られ、北極星を含む最も明るい7つの星である。

そして時計師にとってありがたい細かな点では、調整用工具を通せるような位置に星の1つが意図的に配置されている。

ローター上で回転する星でいっぱいの夜空は、ムーンマシーンに比喩的な意味で命をもたらしただけでなく、パワーを生み出して月の複雑機構およびムーブメントの両機能に文字通り命を与えている。MB&Fを象徴するバトルアックスは2つの月の顔の間にあるローターの軸という誇らしげな位置に据えられている。

*「ムーンマシーンでは、HM3は宇宙空間を旅しているかのように見えるにとどまらず、宇宙の一部になっている。ムーンマシーンは観察者ではなく参加者になったんだ。」*ステファン･サルパネヴァ

月面のクレーターが形づくる「月の上の人」はたくまし過ぎる想像力の産物だが、ステファン･サルパネヴァ氏はムーンマシーンの月の顔を自分自身の顔を元にして作った。これほどの思い入れが他にあるだろうか！

ムーンマシーンは3種類：チタンケースにライトブルーの空に浮かぶホワイトゴールドの月の顔、ブラックチタン･ケースにダークブルーの空にホワイトゴールドの月の顔、レッドゴールド･ケースにアンスラサイトの空に浮かぶレッドゴールドの月の顔、各18個の限定生産となる。

**ご用心：満月の下でカエルにキスをすると何かが起こるかも！**

**月：技術仕様**

他の惑星にはもっと多くの月（木星には62個）、もっと大きな月（土星の月タイタンは地球の月の2倍）があるが、地球の月は惑星（地球）に対する大きさが1/4と大きく我々の太陽系の中でも類がない。そのため地球に及ぼす影響がきわめて大きい。

地球からの平均距離：390,000 km

地球からの所要時間：3日間

重力：地球の重力の1/6

月の1日の長さ：地球の27.3日

月の自転周期と地球を周る公転周期は完全に同期している

地球への影響：1日に2度の潮汐作用を起こす；夜間しばしば明るさをもたらす；太陰周期（月の満ち欠け）は人類初の時間単位の１つだった；その引力で多くの隕石を引き付け地球への衝突を阻止している；太陽に対する地球の傾きを一定に保っている

**パフォーマンスアート･ピーシーズ**

パフォーマンスアート･ピーシーズでは、MB&Fが提供するタイムピースに外部のクリエーターが独自の視点に従って部分的な改造を加えている。

2009年：アメリカのアーティスト、セージ･ヴォーン氏がHM2をベースに一羽の蝶を金の鉄条網に閉じ込めたオンリーウォッチ2009を製作、強烈なメッセージを発した。

2009年：フランスの時計デザイナー、アラン･シルベスタイン氏は衝撃的なほどミニマリスト的なHM2.2ブラック･ボックスを作り出した。

2010年：フランスの宝石ブランド、ブシュロンがHM3をカラフルな宝石をちりばめたフクロウに変身させて眼の覚めるようなジュエリーマシーンを製作した。

2011年：中国人アーティスト黄含康氏は空飛ぶパンダが操縦するHM4を2011年のオンリーウォッチとして、自由に空を飛びたいという子供たちの夢をかなえた。

2012年：フィンランドの時計師ステファン･サルパネヴァ氏は、月や星に抱く情熱をHM３フロッグに託してムーンマシーンにした。

**ムーンマシーン　技術仕様**

ムーンマシーンは特別設計のHM3フロッグをベースに、月の複雑機構のイメージ･デザイン･製作をステファン･サルパネヴァ氏が行った。3種類の各18本限定生産となる。

**ムーブメント：**

アジェノー社のジャン＝マルク･ヴィダーレヒト設計による3次元オロロジカルエンジン

ソーウィンド社製オシレーターおよびギアースをステファン･サルパネヴァが改造

28,800振動でのバランス発振

星座形の穴を開けたDLCコーティングスチールと22Kゴールドの自動巻きローター

時分情報はセラミックボールベアリング経由で回転ドームへと伝わる。

石数：36（すべて機能上のもの）

部品数：319

**機能：**

一方のドームには時表示（12時間で１回転するアルミニウムドーム）

もう一方のドームには分表示（60分で１回転するアルミニウムドーム）

コロナ･リングの下で回転する2つの月が表示するムーンフェイズ

**ケース：**

ナチュラルチタン･ケース、ホワイトゴールドの月、ライトブルーの空、18本限定

ブラックチタン･ケース、ホワイトゴールドの月、ダークブルーの空、18本限定

レッドゴールド･ケース、レッドゴールドの月、アンスラサイトの空、18本限定

表示ドームは手首と直角に設計

スクリューダウン式竜頭  
寸法（竜頭および突起部分を除く）：47 mm x 50 mm x 19 mm  
ケース部品数：55

**サファイアクリスタル：**

ドームと両方のディスプレイ背面には両面反射防止加工 

**文字盤：**

回転式アルミニウムドーム、0.58 g

**ストラップおよびバックル：**

黒の手縫いワニ革に18Kゴールド／チタン製カスタムデザインのデプロイメント･バックル

**ムーンマシーンを創った「フレンズ」たち**

*コンセプト：*マキシミリアン･ブッサー、ステファン･サルパネヴァ

*製品デザイン：*エリック･ジルー／エリック･ジルー･デザイン･スタジオ

ステファン･サルパネヴァ

*技術･製造管理：*セルジュ･クリクノフ、ギョーム･テブナン／MB&F

*ムーブメント開発：*ジャン＝マルク･ヴィダーレヒト、

ニコラス･シュタルダー／アジェノー 、

ステファン･サルパネヴァ

*ムーブメント製造：* ジョルジュ･アウエール／メカウォッチ

*ムーブメント部品手仕上げ：*ジャック･アドリアン、デニス･ガルシア／CLロシャ

*セラミックボールベアリング：*　パトリス･パリエッティ／MPS

*ムーブメント組み立て:*ディディエ･デュマス、ジョルジュ･べジー、アレクサンドル･ボネ、ベルトラン･サゴリン／MB&F

*ケース、バックルの構成および製造：*ドミニク･メニエ、ベルトラン･ジューネ

／G.Fシャトゥラン

*サファイアドーム：*マーティン･シュテットラー／シュテットラー･サファイア

*文字盤：*フランソワ･ベルンハルト、デニス･パレル／ネイトバー

*ベルト:*オリビエ･プルノ／カミーユ･フルネ

*化粧箱：*フレデリック･ルジャンドル／レコーニ、イザベル･ヴォドー／ヴォドー

*製造ロジスティクス：*デービッド･ラミー／MB&F

コミュニケーション：

MB&F: シャリス･ヤディギャログル、ヴィルジニー･メイラン、エレオノー・ピッチオット

グラフィック･デザイン：　ジェラール･ムリエール、アンソニー･フランクリン

／GVAスタジオ

製品撮影：マーテン･ファン･デア･エンデ

人物写真撮影：　レジス･ゴレ／Federal、キンモ・シュヴァリ／ウンブレラ・ヘルシンキ

ウェブ開発：　ステファン･バレ、ギヨーム･シュミッツ／スモー･インタラクティブ

テキスト：　イアン･スケレーン